

結果報告 12月Web利用者モニター「うなぎ」

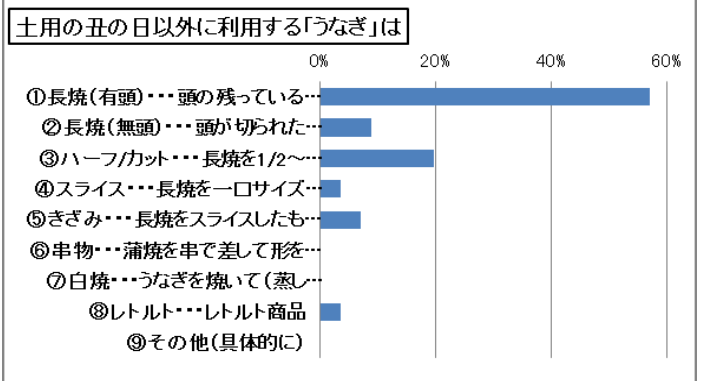
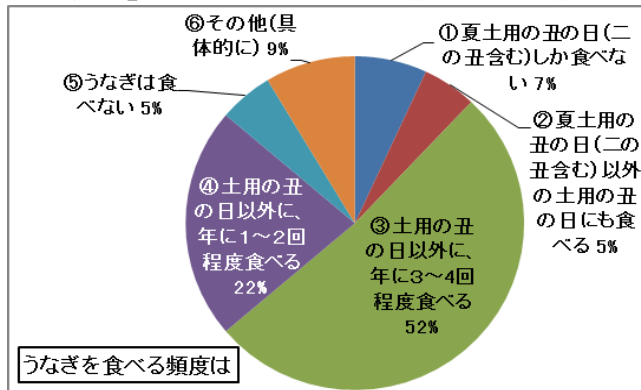
【テーマ・商品】

うなぎ

【モニター目的】

日常の(土用の丑の日以外)のうなぎの利用を引き上げるために、普段の利用のされ方についてアンケートを実施し参考にする。

【回答期間】 12/19～12/24 【回答者数】 59名



■概要(子育て:40歳未満 ファミリー:40歳以上55歳未満 シニア:55歳以上70歳未満/シルバー:70歳以上)

■「うなぎ」を食べる頻度は:①土用の丑の日以外に年に3～4回程食べる 51.7% ②土用の丑の日以外に年に1～2回食べる 22.4% ③その他 8.6% ④夏土用の丑の日(二の丑含む)しか食べない 6.9% ⑤夏土用の丑の日(二の丑含む)以外の土用の丑の日にも食べる/うなぎは食べない 各5.2%

*土用の丑の日に利用する「うなぎ」について

■土用の丑の日に利用する「うなぎ」のタイプは:①長焼(有頭) 57.1% ②ハーフ/カット 19.6% ③長焼(無頭) 8.9% ④きざみ 7.1% ⑤スライス/レトルト 各3.6%

■「うなぎ」を食べる人は:①60～70代男性 54.4% ②60～70代女性 50.9% ③40～50代女性 38.6% ④40～50代男性 35.1% ⑤20～30代男性 24.6%

■土用の丑の日に利用する「うなぎ」の1人前の価格は:①～¥2,000 28.6% ②～¥1,000 26.8% ③～¥1,500 19.6% ④～¥500 14.3% ⑤予算は決めていない 5.4%

■土用の丑の日に利用する「うなぎ」の食べ方:①うなぎ 86% ②蒲焼のみ(そのまま) 10.5% ③その他 3.5%

■土用の丑の日に利用する「うなぎ」の各項目の評価(5段階(重要+とても))

・土用の丑の日に利用する「うなぎ」では、特に「国産であること」が5点満点で「4.6」と重要視されています。その次は「国産で産地がわかること」が「4.5」と重要度が高くなっており、「価格が予算内であること」「ふっくらしていること」「臭みがなさそうなこと」が「4.2」で続いています。一方重要度が高くないのは「有頭であること」の「2.7」でシルバー層以外は有頭かどうかはあまり重要視していない様です。

*土用の丑の日以外の日利用する「うなぎ」について

■土用の丑の日以外に利用する「うなぎ」のタイプは:①長焼(有頭) 40.4% ②きざみ 19.2% ③ハーフ/カット 17.3% ④長焼(無頭)/スライス 各7.7% ⑤レトルト 5.8%

■土用の丑の日以外に利用する「うなぎ」の1人前の価格は:①～¥1,000 37.7% ②～¥500 20.8% ③～¥1,500 13.2% ④～¥2,000 11.3% ⑤予算は決めていない 7.5%

■土用の丑の日以外に利用する「うなぎ」の食べ方:①うなぎ 77.8% ②蒲焼のみ(そのまま) 7.4% ③その他 5.6%

■土用の丑の日以外に利用する「うなぎ」の各項目の評価(5段階(重要+とても))

・土用の丑の日以外に利用する「うなぎ」でも「国産であること」が5点満点で「4.6」と重要視されています。その次は「臭みがなさそうなこと」の「4.4」、「価格が予算内であること」の「4.3」と続きます。一方重要度が高くないのはこちらも「有頭であること」の「2.7」で同じくシルバー層以外では重要視されていません。